

2022/10/08 くろしおオンラインセミナー
学習者の視点で日本語をとらえ直してみよう —
『超基礎・日本語教育のための日本語学』を使って

「意外とおもしろいかも？」 と思わせる文法の授業を目指して

第8章 & 第9章

聖心女子大学現代教養学部

清水由貴子

本パートの流れ（10:10-10:45）

- 『超基礎 日本語学』をどんな授業で使っているか？
- 受講生の様子、教師のねらいは？
- 第8章の紹介
- 第9章の紹介

『超基礎 日本語学』を使っている授業

- 「日本語学概論」…日本語学の基礎編
- 学部2～4年生対象
(約80名 留学生7～8名含む)
- 日本語教員課程の必修科目
- 中学・高校の教職課程(国語)の必修科目
- 日本語日本文学科の選択必修科目



授業前の受講生の様子は？

- 英文法、古典文法 … 苦手意識あり
- 母語（日本語）の文法を学ぶ意味？ 必要？
- 「日本語はいい加減だ」「日本語は難しい言語」…？
日本語の特徴やおもしろさに、気づいていない

「おもしろい」と思える文法の授業を目指して

- 「**学習者の目**」を借りて、普段当たり前だと思っている日本語の使い方を振り返ってみる
- 母語話者だからこそ気づかない日本語のルールに、目を向けるきっかけを作る
(**新しい使い方、若者ことば**なども取り上げる)
- 「正解はわかるけど、説明できない～」という体験を経て、「**へー!**」「**確かに!**」「**知らなかった!**」と思わせる

第8章 文法（1） 学校文法と日本語教育文法

私たちが習った学校文法と学習者が学んでいる文法は、どう違うの？

1. 日本語教育文法とは

2. 品詞

3. 動詞の活用

4. まとめ

- ・ 「学校文法」の復習しつつ、
「日本語教育文法」の考え方も取り上げる
- ・ 両文法がどう違うかを知り、
なぜ違うかを考える

★品詞の違い

★動詞の活用表と動詞のフォーム 等

学校文法と日本語教育文法の比較

日本語の文を機能や形によって細かく分類するため

活用語尾が同じものはまとめる

	誰が学ぶ？	何のために学ぶ？	取り上げる品詞の数	動詞の活用形の数
学校文法	日本語母語話者	日本語のしくみを知識として知るため	10種類	6種類
日本語教育文法	日本語を外国語として学ぶ人	日本語の運用のため	4種類くらい	11種類くらい

日本語の文を組み立てるため
(文型に必要なもの)

意味・機能ごとに分かれている

学習者のよくある間違い

例) × 「私の嫌い食べ物は…」

× 「富士山はきれいかったです」

→ ナ形容詞の「嫌い」や「きれい」を、イ形容詞だと勘違い

例) × 「この映画は、おもしろかったです」

× 「昨日のテストは、いいでした」

→ イ形容詞なのに、ナ形容詞の活用にしてしまう

こんな課題をやっています（第8章）

■課題 2

「大人」や「昭和」ということばは、本来、名詞ですが、ナ形容詞として使われることもあります。以下のAは名詞としての使い方、Bはナ形容詞としての使い方です。それぞれ、どういうもの、どういう状況をイメージしますか。

- ① A 大人の服 B 大人な服
- ② A 昭和の喫茶店 B 昭和な喫茶店

■課題 4

学校文法の「動詞の活用表」と、日本語教育文法の「動詞のフォーム」を見比べ、両者の違いをできるだけたくさん挙げてください。

第9章 文法（2）日本語の文と助詞

日本語の文は、学習者からはどう見えているの？
助詞ってそんなに大事なの？

1. 日本語の文の種類

2. 格助詞

3. 「は」と「が」

4. まとめ

- ・ 格助詞は似たような機能を持つものもある
- ・ 一つの格助詞が複数の機能を持つ場合もある
- ・ 「は」は、格助詞とは働きが異なる助詞
- ・ 「は」と「が」が問題となることも

★ 「に」や「で」の複数の機能

★ 「は」のある文と「は」のない文の 等

こんな課題をやっています (第9章)

■課題3 「は」と「が」に関する問題

以下の①と②の文では「教室に田中さんがいる」という状況は同じですが、使われる場面がそれぞれ違います。それぞれ、どう違うのでしょうか。

- ①教室に田中さんがいます。
- ②田中さんは教室にいます。

皆さんはどう思いますか
チャットに書いてください

日本語学習者から見た「は」と「が」の混乱ポイント

主語に「は」を
付けるのか？

「～**は**～です」

「～**は**～ます」

「～に～**が**います」

「～**は**～にいます」

「～**は**～**が**～です」

「朝ごはん**は**食べました」

「すてきな時計ですね」

「ええ、姉**が**買ってくれたんです」

「**は**」がない！

「**は**」がある！

この「**は**」は
主語じゃない！

「**は**」も「**が**」
もある！

ここは「**は**」が
使えない！

日本語母語話者から見た「は」と「が」の混乱ポイント

① 「教室に田中さんがいます」 ② 「田中さんは教室にいます」

A ①の「田中さん（が）」も、②の「田中さん（は）」も**主語**

B ②は「田中さん」を**強調**（①は強調なし）

C ②は「森さんは教室にいないけど」などと**対比**（①は対比なし）

D ①は、教室を見て気づいたことを言っている

②は、田中さんを探している人に「田中さん見なかった？」と聞かれ
「田中さんは教室にいるよ」と答えている

どんな状況で言うのか、前後の文脈を想像する！

「は」の機能を教える

~について言うと

- 「は」：文の中で話題にしたい部分につき、**主題**を表す
⇔ 「は」のない文は「いつ誰が何をした」という事実関係だけを表す

昨日、田中さんがアイスクリームを食べました。

昨日は、田中さんがアイスクリームを食べました。

田中さんがは、昨日、アイスクリームを食べました。

アイスクリームをは、昨日、田中さんが食べました。

- 「は」は様々な要素に付く。「~が」と「~を」に付く場合は格助詞が消え、見た目が「~は」となる

まとめ

- 学校文法と日本語教育文法、
使う人、使う目的、重視する点が異なる
- 日本語学習者は日本語母語話者とは違った日本語の見方
をしている
- 日本語学習者の日本語からも、日本語の特徴を知ることが
できる
- 身近な具体例をもとに、様々な考えるタスクに挑戦する
「考える文法」の姿勢で！